

会議録

会議の名称	男女平等参画推進委員会 平成29年度 第13回
開催日時	平成30年2月19日（月曜日） 午後6時00分から8時00分まで
開催場所	田無庁舎 5階 502会議室
出席者	出席：石崎委員長、小澤副委員長、岩本委員、荻草委員、小松委員、篠宮委員、鈴木委員、田村委員、深田委員、堀内委員、安田委員、山田委員 欠席：井上委員、佐々木委員、前田委員 事務局：山田課長、福田係長、樋口主査
議題	(1) 第12回男女平等参画推進委員会会議録（案）の承認について (2) 男女平等参画に関する西東京市市民意識・実態調査報告書（案）について (3) 勉強会 『西東京市・男女平等参画推進「第4次計画」策定の前に。～“人口減少社会の進行の進行”と“格差・貧困問題”を考える。～』 (4) その他
会議資料の名称	【配布資料】 (1) 第12回男女平等参画推進委員会会議録（案） (2) 男女平等に関する西東京市市民意識・実態調査報告書（案） (3) パリテ登録団体へのインタビュー 事前アンケート調査 まとめ (4) パリテ登録団体へのグループインタビュー まとめ (5) 『西東京市・男女平等参画推進「第4次計画」策定の前に。～“人口減少社会の進行の進行”と“格差・貧困問題”を考える。～』講義資料 参考資料 男女平等参画に関する職員意識・実態調査 とりまとめ（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

【開会】

○委員長：これより第13回男女平等参画推進委員会を開催いたします。

事務局より配布資料を確認した。

事務局より委員の半数以上が出席しており委員会が成立している旨の報告をした。

(1) 第12回男女平等参画推進委員会会議録(案)の承認について

事務局より配布資料を確認した。

○委員長：皆さん既に見ていただいていると思いますが、特に修正がなければ会議録はこれでご承認いただくということでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○委員長：議事録は承認されましたので、先に進めていただきたいと思います。

異議なく承認された。

(2) 男女平等参画に関する西東京市市民意識・実態調査報告書(案)について

○委員長：事務局より説明をお願いします。

資料2、資料3、資料4、参考資料について説明をした。

○委員長：質問のある方はいらっしゃいますか。

○委員：この回収率でこの調査をよいとしていいのか、疑問に思いました。

○事務局：回収率が3割を超えているということで、計画策定の参考とさせていただくということとはできると思います。

前回の調査と比べ、調査項目が多くなっていることが市民の方に負担になったということはあるかもしれません。

○委員長：次の調査のときに、インターネットでの回答検討する価値はあると思います。次の機会のために事務局で引き継いでいただきたいと思います。他に何かありますか。

○委員：他のアンケートでは粗品を進呈している場合があります。予算の関係で難しいところもあると思いますが、大事な計画とかを作るときに20代、30代の人に答えていただくためには、場合によってはよいと思います。

○事務局：今後の参考にさせていただきます。

○委員長：質問項目のこと、インセンティブをつけること、インターネットを使うことなどのご意見が出ましたので、次にお話し合いができる機会があればよいかと思います。他にご意見はございますか。

○委員：市民意識調査の方は、無作為抽出であるため、正社員の方だけではなくて、非正規の方も入っているということによいですか。あと、調査の結果を計画にどのように使っていくか、

どのようなことを考えているのかをおたずねしたいです。

- 事務局：市民意識調査は第4次計画に反映するために調査をさせていただきました。職員調査については、庁内での課題への取り組みや職員研修などに活かしていきたいと思っております。
- 委員：市民の意識が乖離していたらそれは計画をつくっただけで終わってしまうので、市民の意識を具体的に計画にどのように入れていくかを是非この場でもって議論のたたき台にしていくことも、先導していただきたいです。
- 委員長：現実として、私たちは委員として、この結果を活かさないといけませんね。じっくり調査結果をお読みになって、これからどう計画に反映していくかをご説明いただければと思います。
- 事務局：次回3月28日（水）から、次の計画をどう進めていくかという議論に入っていきたいと思っています。次の計画に是非反映させたいとか、どういう風に進めたいなどのお考えがあれば、次回までにご意見をお寄せいただき、それを含めた形で進めさせていただければと思います。
- 委員長：何かご質問ありますか。
（特になし）
- 委員長：ご質問がないようです。メールでお返事してもいいだろうということですね。よろしくをお願いします。

(3) 勉強会 『西東京市・男女平等参画推進「第4次計画」策定の前に。～“人口減少社会の進行の進行”と“格差・貧困問題”を考える。～』

- 委員長：岩本委員にご講義いただきます。私たちが今一番直面している問題について、解決のヒントがいただけるのかと思います。私たちも勉強して、同じ認識を持つということも大事だと思います。それではよろしくをお願いします。
- 岩本委員：今後第4次計画を策定していくときに、ちょっと気にしておいていただきたいところをまとめさせていただきました。
1 つ目は「人口減少社会の進行」についてです。男女平等参画を考えていく上で念頭に置いておかなければいけないことなのかなと思います。
出生率の向上に向け、育児休業法ほか国も色々取り組んでいますが、あまり効果が出ていません。一方、平均寿命を見ると年々高くなっている。生活保護世帯も過半数が65歳以上世帯となり、制度の見直しを迫られています。日本の将来人口推計では2110年に4,286万人となっています。
何が問題なのかというと、人口が激減していくとわが国はどこかで経済破綻をする、ということ、そういう方向に今あるのだということをご理解いただきたいと思います。
ではどうしたらいいのか。多くの先進国では女性の社会進出→(超)少子化現象→男性の家庭進出→出生率回復、という流れがあるが、日本の場合、男性の7割は全く家事をしないので、(超)少子化状態のまま止まっている、ということです。男性の家庭進出を進めるにはどうしたら

いいのか、それを来年度の委員会でぜひ議論していただきたいと思います。

2つ目は「格差・貧困問題」についてです。日本は正規・非正規の賃金格差が大きく、また非正規の割合が年々増え40%を超えてきています。貧困の連鎖など、派生する問題の大きさを考え、行政では積極的に解消する方向で考えています。

政府は「働き方改革」関連法案というのを出してきて、その中に「同一労働同一賃金」という考え方がありますが、これは賃金以外のあらゆる格差の改善を図っていくことを目標にしている、ということをご理解ください。また、今回の「同一労働同一賃金」は、正規・非正規の待遇差を完全に解消することを目的とするのではなく、正規はそのまま、非正規の待遇を欧州並みの水準まで引き上げていく、というものです。

人口減少と同一労働同一賃金の問題を解決した先に目指すべきものは何かと考えてみると、本委員会の前委員長である渥美由喜先生の言う「今後は、制約・無制約の間を柔軟に行き来しつつ、キャリア形成できる職場作りが重要に」なってくる、ということです。また、平成15年度の国民生活白書などに書かれている、“ポルターモデル”という、オランダのワークシェアリングが参考になります。

以上、2つの問題の他にもう1つ「介護離職」の問題があります。要介護認定を受ける方の増加、それにかかる費用、長寿化に伴う介護にかかる年数の長期化などの問題に対応していく必要性が急速に高まっています。労働行政の立場からは、①高齢者雇用の促進②介護や病気療養と仕事との両立支援③定年の延長・廃止④定年後再任用制度における所得・待遇格差の是正⑤高齢者向け職業教育・リカレントの充実などが、早急に取り組むべき課題となるものと思われれます。

○委員長：ありがとうございました。今日は質疑の時間はありませんが、今後の委員会の時などに伺えればと思います。

(4) その他

○事務局：委員は仕事の異動があるということで3月末で退任をされるというご連絡があり、次の方の選任をしているということです。また、来年度の日程ですが、来年度は計画の策定がございますので、年間の回数が8回あり、9月までに5回くらいは委員会を開催しないとイケないかと考えています。詳細が固まり次第、案としてお示しさせていただきたいと思います。

○委員長：これで閉会とさせていただきます。お疲れ様でした。

【閉会】